

企画展 「ハコ」展～箱膳からハコモノまで

会 期：2022 年 7 月 16 日（土）～2022 年 8 月 28 日（日） 〈38 日間〉

会 場：企画展示室、美術工芸展示室

観 覧 料：無料

展示点数：202 点

入場者数：2402 人



【内容】

私たちの身の回りのあらゆる場面で存在する「箱」。箱は人類最大の発明であるという人もいます。今回の展覧会では、さまざまな素材やかたち、用途や機能を持つ箱の世界を、収蔵資料を中心に紹介するほか、今を生きる人々がふだんの暮らしの中で、いとおしく魅せられた箱、思い出の詰まった箱なども展示します。展覧会を通して「作る」「使う」「楽しむ」「愛でる」など、箱に込められた思いに触れ、分かち合うきっかけとなれば幸いです。

また、「ハコモノ」といわれる博物館。その内部で用いられている様々な箱を紹介しながら、さらに情報集積やインターフェイスのハコという観点から、これからのミュージアム像についても思いを馳せます。

【関連事業】

□小説『箱男』を読む

7 月 31 日（日）14:00～15:00 研修室 参加者：9 人

□四季を食べる講座 特別講座「おかってのハコ」

8 月 6 日（土）10:30～13:00 生活体験館 参加者：9 人

□ふらっとみゅーじあむ「おっとびつくり！あけてもハコ！」

① 8 月 4 日（木）13:30～15:30 工芸室 参加者：24 人

② 8 月 11 日（木）13:30～15:30 工芸室 参加者：24 人

□青空図書館 in 文化の森「ハコ展」

8 月 21 日（日）文化の森エントランスホール

① 11:00～11:35 参観者：7 人

② 13:00～13:45 参観者：13 人

【刊行物・ミュージアムグッズ】

記録集 A4 判 78 ページ 販売価格 1500 円

【展示品】

「ハコ」を見る

【一で味わう】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	箱膳	1	25.5×25.8×10.0	館蔵	
2	箱膳	1	25.0×25.5×10.5	※1	
3	箱膳	1	27.2×27.0×11.0	館蔵	
4	箱膳	1	25.5×25.5×10.2	※2	
5	箱膳	1	25.5×25.8×10.2	※2	
6	箱膳	1	26.8×27.0×10.7	※2	
7	箱膳	1	25.5×25.6×10.7	※1	
8	箱膳	1	24.0×24.1×9.8	※1	
9	箱膳	1	24.0×24.4×9.3	館蔵	
10	箱膳	1	27.0×27.1×11.7	※1	
11	箱膳	1	23.8×23.0×10.0	館蔵	
12	箱膳	1	25.5×25.5×39.0	※1	
13	箱膳	1	26.8×27.0×11.1	※1	
14	箱膳	1	26.0×25.3×10.2	館蔵	
15	箱膳	1	27.1×27.1×10.7	※1	
16	箱膳	1	25.2×25.5×10.8	※2	
17	箱膳	1	23.7×23.7×9.8	館蔵	
18	箱膳	1	29.5×29.4×21.0	館蔵	
19	弁当箱	1	9.0×18.2×19.6	※2	
20	弁当箱	1	9.2×19.9×9.4	※2	
21	弁当箱	1	21.0×20.0×25.4	館蔵	
22	重箱	1	17.0×19.0×7.0	館蔵	
23	重箱	1	16.8×18.2×5.8	館蔵	
24	重箱	1	17.0×22.2×8.8	※2	
25	キリダメ (切溜)	1	24.5×36.5×21.6	館蔵	
26	キリダメ (切溜)	1	41.5×29.3×24.3	館蔵	
27	キリダメ (切溜)	1	27.0×39.5×38.0	館蔵	
28	キリダメ (切溜)	1	27.7×39.0×34.0	館蔵	
29	キリダメ (切溜)	1	28.0×40.5×38.4	※1	
30	入れ子	1	32.9×40.0×17.0	※1	蓋、本体
32	入れ子	4	18.4×26.3×8.7	※2	
33	入れ子	1	32.8×39.0×14.8	※2	蓋、本体
34	くるみ膳	1	27.0×27.0×4.0	※1	
35	くるみ膳	1	27.3×27.2×3.3	※1	

36	くるみ膳	2	27.2×27.2×3.7	※1	
37	切貝膳	1	29.5×29.4×7.1	館蔵	
38	弁当箱	1	15.0×10.1×3.0	館蔵	
39	弁当箱	1	9.8×13.8×4.0	館蔵	
40	弁当箱	1	10.5×14.8×3.0	館蔵	
41	弁当箱	1	14.3×9.8×3.0	館蔵	
42	弁当箱	1	14.3×9.8×4.0	館蔵	
43	弁当箱	3	11.6×17.9×5.2	館蔵	
44	弁当箱	1	14×9.5×3.2	館蔵	
45	弁当箱	1	13.8×10×7.5	館蔵	
46	弁当箱	1	6.2×11.6×2.0	館蔵	
47	弁当箱	1	9.0×12.2×4.0	館蔵	
48	弁当箱	1	10.4×14.8×3.1	館蔵	
49	弁当箱	1	13.0×18.8×2.7	館蔵	
50	弁当箱	1	11.0×7.0	館蔵	
51	弁当箱	1	12.9×18.8×7.0	館蔵	

小計 56

※1 一宮市尾西歴史民俗資料館

※2 中山道みたけ館

【一に入れる】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	銭箱	1	3.2×22.7×20.0	館蔵	「嘉永7年」
2	牛乳入れ	1	14.0×20.5×26.5	館蔵	
3	金庫	1	23.0×34.3×14.0	館蔵	
4	小鳥箱	1	34.5×30.2×44.0	館蔵	
5	パン屋のハコ	1	65.0×36.2×25.0	館蔵	
6	蝇帳	1	46.0×46.0×91.0	館蔵	
7	木製冷蔵庫	1	41.0×43.2×50.2	館蔵	
8	投票箱	1	44.3×31.4×42.0	館蔵	

小計 8

【一を使う】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	マス	4	17.0×17.0×9.0	館蔵	
2	一斗マス	1	35.5×35.5×25.0	館蔵	
3	電気あんま	1	17.0×19.2×19.5	館蔵	
4	サバ寿司の箱	1	24.3×45.2×20.5	館蔵	

5	箱枕	2	6.0×15.2×9.3	館蔵	
6	箱枕	1	6.5×22.5×15.5	館蔵	
7	箱枕	1	5.5×20.0×9.3	館蔵	
8	箱枕	1	5.3×22.0×11.0	館蔵	
9	角せいろ	1	38.0×42.0×52.8	館蔵	
10	トウフ作り器	1	23.8×48.0×24.6	館蔵	

小計 14

【一にしまう】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	硯箱	1	23.0×13.5×4.5	館蔵	
2	文書箱	1	53.0×30.0×49.2	館蔵	
3	帽子箱	1	28.5×32.5×27.8	館蔵	「明治三十年」
4	帽子箱	1	29.0×32.8×27.0	館蔵	
5	文箱	1	30.0×37.0×16.7	館蔵	
6	針箱	1	16.7×30.7×25.0	館蔵	
7	針箱	1	11.0×16.3×16.7	館蔵	
8	針箱	1	17.8×17.7×20.2	館蔵	
9	コースター入れの箱	1	10.0×12.5×14.0	館蔵	
10	アイロンの箱	1	9.6×11.7×13.5	館蔵	
11	国旗入れの箱	1	9.0×32.0	館蔵	
12	救急箱	1	31.9×41.8×28.0	館蔵	
13	旧古井村田畑組 「封じ込み書類」箱	1	37.0×30.0×22.0	館蔵	「大正三年」 美濃加茂市古井町田畑組 寄贈
14	籐行李	1	56.5×37.3×22.0	館蔵	
15	行李	1	58.0×38.5×24.0	館蔵	
16	膳をしまう木箱	1	35.6×35.3×91.7	館蔵	
17	「ガンガン」	1	74.3×37.6×29.0	館蔵	
18	船用櫃	1	39.0×68.8×41.0	館蔵	
19	薬箱	1	22.8×19.5×12.0	館蔵	
20	薬箱	1	22.0×23.5×14.5	館蔵	
21	薬箱	1	24.0×18.2×3.0	館蔵	
22	薬箱	1	21.7×16.6×9.8	館蔵	
23	薬箱	1	23.0×19.0×11.3	館蔵	
24	薬箱	1	23.0×18.7×12.0	館蔵	
25	柄鏡と鏡箱	1	39.0×27.0×31.0	館蔵	江戸時代
26	長持	1	70.0×166.0×72.0	館蔵	
27	長持	1	60.0×144.0×60.0	館蔵	

小計 27

【一で運ぶ】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	行器 (ほかい)	1	34.5×35.0×35.0	館蔵	
2	写真機を持ち運ぶ箱	1	19.5×26.5×24.8	館蔵	
3	道具箱	1	26.3×65.0×11.5	館蔵	
4	紙芝居の箱	1	50.0×11.2×39.6	館蔵	
5	カバン	1	12.5×43.5×26.0	館蔵	
6	郵便小包	1	23.0×17.0×9.5	館蔵	
7	日本名所図繪の箱	1	17.5×12.0×19.4	館蔵	
8	手紙箱	1	24.0×8.7×4.6	館蔵	
9	ビール箱	1	16.0×16.0×32.5	館蔵	
10	馬匹徴発用状箱	1	6.0×27.0×15.0	館蔵	明治末期、旧古井村役場旧蔵
11	おかもち	1	28.5×34.0×20.7	館蔵	
12	筆箱	1	22.0×6.0×20.0	館蔵	
13	筆箱	1	21.8×6.0×18.0	館蔵	
14	釣り道具を運ぶハコ	1	27.3×20.3×6.5	館蔵	
15	召集用状箱	1	7.2×26.5×11.2	館蔵	明治末期、旧山之上村役場旧蔵
16	召集用状箱	1	7.2×26.5×11.1	館蔵	明治末期、旧伊深村役場旧蔵
17	召集用状箱	1	7.2×26.5×11.0	館蔵	明治末期、旧古井村役場旧蔵

小計 17

【一に詰める】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	リンゴ箱	1	64.0×30.0×31.2	館蔵	
2	リンゴ箱	1	64.0×30.0×30.7	館蔵	
3	茶箱	1	47.5×43.1×48.4	館蔵	
4	鶏肉照り焼きの木箱	1	45.0×35.0×30.3	館蔵	
5	森永ドライミルクの木箱	1	51.3×34.3×19.8	館蔵	

小計 5

【一で売り出す】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	ハンドミキサーの箱	1	27.0×12.3×6.5	館蔵	
2	鉛筆の箱	1	2.4×18.0×1.5	館蔵	
3	マッチ箱	1	9.0×11.2×4.8	館蔵	
4	チュウインガムの箱	1	15.8×23.7×4.2	館蔵	
5	カルタの箱	1	8.0×11.5×7.5	館蔵	
6	「クレパス」の箱	1	9.0×33.0×1.5	館蔵	
7	昆虫採集セットの箱	1	10.2×19.2×2.5	館蔵	
8	彫刻刀の箱	1	14.5×7.0×3.1	館蔵	
9	ベビーパウダーの箱	1	8.5×7.0	館蔵	
10	蚊取り線香の箱	1	12.5×12.5×3.3	館蔵	
11	伊深温泉のマッチ箱	1	5.5×3.6×1.0	館蔵	
12	蜂屋柿化粧箱	1	26.7×23.0×5.7	館蔵	
13	図録『蜂屋柿—その歴史と人々—展』	1	30.0×26.0	館蔵	2008年(平成20年)

小計 13

【一をもう一度使う】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	百人一首が入っているクシ入れ	1	25.5×11.5×4.5	館蔵	
2	日章旗が入っている豆菓子箱	1	21.0×13.7×3.0	館蔵	
3	英単語帳が入っている石鹸の箱	1	17.8×9.2×2.9	館蔵	
4	英単語帳が入っている缶の箱	1	16.5×7.0×2.5	館蔵	
5	裁縫箱として使われた銭箱	1	31.7×20.4×23.4	館蔵	
6	ペンが入っている焼香の箱	1	20.6×15.0×6.8	館蔵	

小計 6

【一をさまざまに使う】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	箱階段	1	162.0×91.0×226.0	館蔵	
2	具足櫃	1	42.0×45.0×55.5	館蔵	
3	箱びな	1	27.5×40.2×46.2	館蔵	
4	箱びな	1	27.4×40.3×46.4	館蔵	

小計 4

【鈴木源吾の一】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	記念品の箱	1	15.2×19.5×9.3	館蔵	
2	記念品の箱	1	21.0×7.0×10.0	館蔵	
3	小物入れ	1	13.6×20.5×5.3	館蔵	
4	勲六等瑞寶章の箱	1	9.8×6.3×2.2	館蔵	
5	勲二等旭日重光章の箱	1	23.0×11.3×4.5	館蔵	
6	小物入れ	1	10.5×20.0×4.7	館蔵	

小計 6

「ハコ」を考える

【文学の一】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	『箱男』	1	20.2×14.2×2.4	館蔵	1973 年(初版)
2	『産経新聞』切り抜きコラム「読書」	1	—	館蔵	1973 年 4 月 23 日

小計 2

【博物館の一】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	「テンバコ」	1	59.0×38.6×15.4	館蔵	
2	「ポリテナー」	7	45.0×35.0×13.0	館蔵	
3	文書箱 (大型)	3	52.0×38.5×26.0	館蔵	
4	文書箱 (新聞用)	3	63.5×48.5×11.0	館蔵	
5	文書箱 (小型)	3	31.5×24.0×6.0	館蔵	
6	標本箱 (ドイツ箱)	1	44.0×60.0×6.0	館蔵	
7	標本箱 (ドイツ箱)	1	41.0×51.0×6.0	館蔵	
8	標本箱 (ドイツ箱)	2	18.0×24.0×7.0	館蔵	
9	印籠箱	1	31.0×21.0×6.0	館蔵	
10	「桐箱」	1	14.7×14.7×17.7	館蔵	
11	「桐箱」	1	58.2×7.7×7.4	館蔵	
12	「桐箱」	1	26.3×6.0×6.0	館蔵	
13	「桐箱」	1	36.2×25.0×18.0	館蔵	
14	ダブルの段ボール板シート	3	190.0×100.0	館蔵	
15	まんじゅう箱	1	50.0×60.0×8.0	館蔵	

16	「ハコ展」の資料を梱包し 輸送した箱	1	40.6×51.0×32.7	館蔵	
17	展示ケース	1	89.5×180×104.0	館蔵	
18	アンケート回収 BOX	1	31.0×30.0×20.0	館蔵	

小計 33

【データボックスとしてのー】【インターフェイスとしてのー】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	PC ハードディスク	1	14.5×11.5×2.5	館蔵	2008 年頃
2	デスクトップパソコン (HP dc5800 SFF E4600 80G)	1	38.5×34.5×10.0	館蔵	2008 年 8 月
3	デスクトップパソコン (Power Mac G4)	1	47.0×22.5×43.5	館蔵	2000 年頃

小計 3

【「モノ」としての博物館】

No.	資料名	員数	大きさ [cm] (縦×横×高さ)	所蔵	備考
1	「みのかも文化の森」当初 建築案に基づく模型	1	56.0×81.0×11.0	館蔵	1990 年頃
2	「(仮)文化の森ニュース」	1	—	館蔵	1997 年
3	「文化の森もうすぐうまれます。」	1	—	館蔵	1999 年
4	『みのかも文化の森 20 周年記念誌』	1	—	館蔵	2020 年
5	『みのかも文化の森ビジョン』	1	—	館蔵	2021 年
6	『みのかも文化の森年報』	1	—	館蔵	2021 年
7	『美濃加茂市民ミュージアム紀要』	1	—	館蔵	2022 年
8	『みのかも文化の森活用 の手引き・活用実践集』	1	—	館蔵	2022 年
9	「美濃加茂事典」(一部を プリントアウト)	1	—	館蔵	2022 年

小計 9

合計 202



[写真1 企画展示室全景]



[写真2 企画展示室全景]



[写真3 美術工芸展示室全景]



[写真4 美術工芸展示室全景]

【アンケート結果】（全 144 枚）

選択設問から

① 展示の資料・作品の見やすさ（配置、明るさ、空間など）にご満足頂けましたか？

・満足	79
・ほぼ満足	47
・ふつう	16
・やや不満	0
・不満	0
・無回答	2
計	144

② 展示の資料・作品の分かりやすさ（解説、説明、パネルなど）にご満足頂けましたか？

・満足	75
・ほぼ満足	46
・ふつう	17
・やや不満	4
・不満	0
・無回答	2
計	144

③ 展示の資料・作品から満足感（感動、発見、知的刺激など）が得られましたか？

・満足	83
・ほぼ満足	39
・ふつう	18
・やや不満	1
・不満	0
・無回答	3
計	144

自由記述から

・一般的にみると箱と一括りにされてしまうものも、いろいろな視点から見るとこんなにも分類ができて、いろいろな種類がうまれるのだと思い面白いなと感じました。自分が知らない箱もたくさんあって驚きました。特に、召集令状の箱があることは知らなかったの、知ることができてうれしかったです。また、その召集令状をもらった時にその人達はどのように感じたのだろうと、改めて戦争や徴収兵について少し考えることができ、これが展示品と人の思いがつながるといふ事なのではないかと思いました。この展示品だけでなく来館者の方が寄贈されたものからも思いが感じられました。それぞれのキャプションをご自分で書かれているように見受けられ、その言葉の中にはその方がその箱をどれほど大切にさ

れているか、その箱とどのような人生を共にしたのかがありのままに書かれており、箱と人のつながりをすごく感じられて一番楽しいスペースだと感じました。

- ・クリスマスのサンタさんのプレゼントの箱をワクワク、ドキドキしながらあけるのが楽しかったです。

- ・展示物が多いので、もっと2つの部屋で分かりやすく展示してほしい。

- ・子供のころ、使った箱があり懐かしく思った。箱膳で食事をしたことが思い出されます。

- ・一部の説明文字が小さい。おもしろい展示でした。なつかしい品が多く有りました。

- ・じっくり見たくなる。

- ・いろいろな物を見れた。ふむふむ！

- ・Disneyの箱を20年ほど集めています。それだけでも年月や歴史を感じますが、今回の『ハコ展』で昔の箱の文化を知ることができてとても興味深かったです。

- ・展示お疲れさまでした。楽しく拝見しました。8月5日がハコの日と聞きうかがいました。

- ・大学の卒業研究「ハコ型の電気炉」を使用してます。

制御する回路の配線をまちがえてショートして死にかけました。

- ・お弁当箱など懐かしく拝見しました。ハコというものは身近にありふれており、特に意識をしたことがなかったので、ハコにも色々あるんだなとおもしろかったです。

- ・捨てられない、ついついとおきたくなる箱ってたくさんあります。中に入れるものが大切な時もあれば箱そのものが大切なこともあります。私自身も箱に魅せられた日本人の一人なのかもしれません。

- ・楽しい展示でした。ハコはただ入れる物だけでなく、見ても楽しいその後使えるという実用的なものもあると思います。私も、美しいハコを手にするについ次何に使えるだろうと考えてため込んでいます…。けっこうなコレクションがあるかもしれないです（笑）。今回の企画展はとても身付な物だけど、あまり気にしていなかった所に注目しているのが楽しかったし、見やすかったです。招集令状の箱は胸がつまるものがありました。また次回も楽しみにしてます。

- ・市民の「ハコ」おもしろかったです。

- ・ふれてみたい箱、中を見てみたい箱があったが、禁じられているのが残念。

- ・なつかしかった。

- ・アイロンの箱は実家にもありました。なつかしかったです。電気アンマって中はどうなっているのか興味津々です。見たかった。

- ・ハコを意識して使っていませんでしたが、今回の展示を見て少し興味を持ちました。

- ・子供の頃いなかのしんせきで箱膳を使っていたのを思い出しました。茶碗は湯（茶）できれいにし、それを飲みほし

て、そのまゝしまっていたのを見ました。箱は生活の中で大切な道具ですね。

- ・木工の仕事をしています。訓練校では箱物を学んだはずなのに、先日私物の箱を作る際思いがけない失敗をしてしまいました。当たり前が存在している何気ない箱なのに奥が深いですね。

- ・ハコという着眼点が面白い。博物館の楽しさを感じられた。

- ・むかしをなつかしく思った。

- ・子供頃を思い出しとてもなつかしい気持ちになりました。木造りは暖かみがあっていいですね。

- ・箱は好きです。あつ、これ昔あったのに〜捨てちゃったというのがあり、今、後かいしてます。ながもちいいですね、つかってます。

- ・子どもの頃、母の実家へ行くとハコ膳で食事をしました。祖母が私のものまで、用意していただいたのがうれしくて、今でもよく覚えています。

- ・今ではとても作れないほど精巧で立派な箱ばかりでおどろきです。子供の頃に見たりんごやお茶の箱などなつかしいです。

- ・なつかしい箱や子供の頃を思い出させて頂きました。年代など記されていると良いと思いました。

- ・ハコ展を見さしてもらいました。仕事柄色々な箱を使っていたりしておもしろかったです。

- ・ハコ展、キリロがすばらしい、やられた…。

- ・箱という世界がこんなに広く深いものだとは知らなかった。軽い興味できてみたが、とても面白い展示だった。市民の皆さんから集まった思い出のある箱たちのコーナーでコメントを書いた紙が、キョリが遠くて小さい文字が読めない展示があったのが残念。日本人はとかく箱に熱い想いがあり、箱が人々の生活にいかになじんで使われているかよく理解できた。たかが箱、されど箱！！

- ・今年の夏、『お箱サークル』を作りました（創設）。快適な引き込みりを目的としたサークルです。私は母に「勝手に箱入り娘」と言われていたので、ならば快適な引き込みりサークルを作ろうと思いました。部員は私と犬です。夏は冷房、冬は床だんで快適です。活動内容は主に寝る、TV、本、快適に引き込める為には健康も大事なので、たまに犬と散歩やボール遊びです。今年の夏は庭で犬とプール遊びというイベントをやりました。これから、お箱（家）で快適に引き込める為、楽しい活動を増やしていこうと思います。

- ・捨てられないハコってありますよね。この展示を見てハコの魅力再発見しました。コレクションしようかな…。

- ・レトロなどかわいいハコがたくさん展示されており、現代のハコとのちがいやレトロなハコの良いところなど、比べて考えながら見ることで興味深かったです。昔を知ると同時に今の便利さや先人の知恵も学べ、とても良い展示だったと思う。

・自分がきざうした「ウスバシロチョウ」がかざられてうれしかった。

・一般の人の「思い出のハコ」が楽しかった。あと文学の箱もの。

・私もたくさんの箱を持っています。なつかしい箱思いでの箱、たくさんありました。ありがとうございました。

・普段あたりまえのように身近にある「ハコ」というお題に、こんなにも大きく幅広く概念が展開されることに驚きとおもしろさ楽しさを感じながら観覧しました。

・面白い企画だと思います。「想い入れのある箱」のコーナーはよいアイディアだと思います。

・身近なハコでも1つ1つのものを見つめると想い入れが伝わってきたり、時代が見えたりしてきました。特に参加型ブースがあり、私もいくつか出せばよかったと思いました。おばあちゃんのお琴のはこ（うるし塗りです）、自分のお気に入りののはこ。はこって見近すぎて捨ててしまうことも多いです。でも本日の展示を見学して1つ1つに愛を感じました。

・色々な「ハコ」がありおもしろかったです。文学とからんだ「ハコ」も興味深かったです。初めて見るものがいっぱいあって楽しかったです。

・最初、市報でハコ展開催を知り、？を感じました。ハコに展示するほどの数や内容があるとは思えなかったからです。しかし、市報をよく読んでみて、ナルホドと思えて来ました。でも、文化の森のどなたが考えたものか、どこからこのような発想が浮かんできたのか、と、ついつい考えてしまいました。展示場について真っ先に入口受付の女性に尋ねました。「誰の発案なの？」と聞くと即座に「可児さんです」と帰ってきて、続けて「若い学芸員さんもです」やはり可児さんか。可児さんらしいなと展示物を見ながら思いました。なつかしいハコ、珍しいハコ、並んでいるハコハコハコ。よくもこれだけ集められたものだなと改めて驚きました。なつかしさに浸りながら、今ではもうないもの、見られないものも沢山あって、私のような高齢の者にしか感じられない思いが溢れてきました。ハコ階段などはその一例です。展示中にもう一回来よう、もう一度じっくり一人で見ようと思いつつ帰途につきました。今度はゲタバコを探してみよう

・中身ばかりを注視して「ハコ」に意識を向けることがありませんでした。用途ごと「ハコ」の物語があること、持ち主の記憶、人々の営みの歴史、本当に人類の大発見ですね。私自身も「私」という箱を大切に生きていきたいです。

・4回目のハコ展です。毎回、時間が足りず…ひとりで来たり、誰かと来たりして楽しく遊んだ気分になりました。ただ美しい、きれいなものを並べるだけの展示ではなくて、ああ、こんな生活もあったんだー、こんな楽しみもあったんだー、とちょっとした思いにふける時間をくださってありがとうございました。私のハコも展示してくださってありがとうございました。

・長持ちや茶箱など所有しています。数年前茶箱やリンゴ箱、海苔箱などリサイクル（布張りなど）して、インテリアとして使ったり、それを職としていらっしゃる方のことをTVか雑誌で見かけ、我が家でもベンチにしてみました。今日はそうした現代でのリメイク品などもあるかと思い期待してきましたが、残念でした。SDGsの時代、是非、歴史視点だけでなく、現代未来への視点での企画展を実施していただけると良いかと思います。

・「ハコ」を作る仕事にかかわっています。ハコの歴史、使われ方について学べてとても参考になりました。大量生産の時代で何をつくるにもコストがかからんで来ますが一度初心にかえって、ハコで何を伝えたいかを考えようと思いました。

・とうとう明日で展示が終わるという日に2人で来館しました。家にあるものを展示できるコーナーをもっと早く知れば家にあるカステラの木箱にします。これは中身はないのですがプーンといいにおいがするので幸せな気分になるのです。ハコはいつもずるすることができない程大好きで今回の企画展は私のためにありがとうという気持ちです。本当にありがとうございました。

・れきしをかんじられる。

・なつかしいものをいくつか見て、昔を思い出しました。こういう展示は、またみせてもらいたいな…。”なつかしさ”とても大事な気がします。やさしい気持ちになれる。ほっとする…。

・一つのモノに注目しながらも、さまざまなジャンルからのアプローチがなされていて斬新だった。文学の中に登場するハコや、ことわざ等に見るハコなどはモノの展示と合わせることで視覚的に理解しやすかった。パネルのデザインも洗練されていて、ストレスフリーに見ることができたことも見る側に配慮した効果があると思う。こうした飽きない、興味をひかせる展示にはとても感心した。

・文学の「ハコ」は、本当に面白かったです。私の専攻が日本文学なので自分の学びにも繋がる部分がありました。例えば、長持ちは、江戸時代の演劇趣向で”人が隠れる道具”として使われていることが多く、これが江戸川乱歩の小説にも見られ興味深かったです。「ハコ」の概念を幅広くとらえて展示されていたのが新たな発見につながったと思います。

・単純な箱だけでなく、広い意味での「ハコ」が展示されていて、とてもおもしろかったです。私もきれいな箱を保管しておく方なので、様々な箱を見て、かわいいなあと思いながら見ていました。また、箱を通じて歴史を感じることができ、興味深かったです。実習でキリダメを展示したので、キャプションの使い方や展示方法など、とても参考になりました。

・文字通りの箱だけでなく、概念としての「ハコ」にまで視野を広げ、博物館の裏側にまで関連付けられた構成にハッとさせられた。1つの主題にここまで話を広げられることに驚き、インスピレーションを得られた。

・様々なお宅からおあずかりした「ハコ」を見ていると、似ている使い方を違うハコを使っているものや、同じようなハコ（お菓子のパッケージ）を違う使い方をしているものもあり、見ていて楽しかったです。

・自分はラテンダンスをやっているので、BOX ステップというのが頭に浮かんだ。あとは、学部でプログラミングをやっていたので、変数宣言なども「ハコ」の一種ではと思った。

・かわいい箱があるとつい手元に残したくて捨てられませんか。クッキー、チョコレート、、、空き箱がいくつもあります。でも「箱」として使うことで「箱」の命が輝くのでしょうか。少し役に立ってもらわないと…そうでない「箱」は思い切ってサヨナラしたいと思います。

・「ハコ」の新しい見方が発見できたとても楽しい企画展でした。

・箱から身近な歴史を学べたようでおもしろかったです。特に一般の方の箱にまつわるエピソードはじっくり読んでしまい共感したり感心したり思わずうるっと来たものもありました。もう一度じっくり見たいと思い2回目来館しました。

・むかし、母の実家で引き出しの箱膳を体験した。なつかしく思ったところに農作業で、大変な時は合理的な、食器類の保管方法とも思い、当時は感動した。

【その他】

朝日新聞夕刊の美博ノートにて「ハコ展」をテーマに2022年7月14日から3回にわたり、コラムが掲載されました。